

## (6) 緑陰セミナー

筆者が初めて緑陰セミナーに参加したのは、1994年の第10回緑陰セミナー・月形町から、今年を含めこれまでに本セミナーには10回以上参加させていただいている。また、第18回の緑陰セミナーでは幹事も担当した。しかしながら、このたび北海道支部50周年にあたり、緑陰セミナーに関してまとめるよう仰せつかったのだが、筆者は緑陰セミナーが、どのような経緯で始まったのかを全く理解していなかった。そこでまず、緑陰セミナーの発足の経緯について調べてみることにした。緑陰セミナー発足の経緯については、北海道支部35周年記念誌よりうかがい知ることができた。支部35周年記念誌に吉田仁志先生が記された冰雪セミナーに関する記事を引用させていただくと、『担当したもう一つの冰雪セミナーは第20回記念大会(1985年1月)である。冰雪セミナー発足の地、支笏湖観光ホテルに会場を設定した。分析化学の将来、特に若手の育成のあり方を探る機会としたいと考え、若手研究者による座談会、総合討論も行われた。—中略—そこでは、分析化学の永遠の問題、分析化学のあり方をはじめとして、身近な支部の活動のあり方などが真剣に論議された。討議された中の幾つかは早速幹事会で取り上げられた。現在の若手研究者のための「緑陰セミナー」もその中から生まれたものである。』と記されている。第1回緑陰セミナーが1985年9月であることから考えて、緑陰セミナーの起源は、この年の冰雪セミナーにおける総合討論にあったと思われる。また、緑陰セミナー発足当時のメンバーであり、現北海道支部長である田中俊逸先生に、当時の状況についてお話を伺うことが出来た。当時、分析化学会の各支部で若手の夏の学校が発足した時期であり、北海道支部の若手研究者の活動として何かを行わなければならないという時代背景的な要因もあったとお伺いした。ちなみに現在、近畿支部を除く各支部で若手を中心としたセミナーが行われている。また、第1回緑陰セミナーの幹事をされた菅原正雄先生が、支部35周年記念誌に緑陰セミナーの名称の由来や発足当時の様子を詳細に記されており、当時の様子をうかがい知る貴重な記録を残されている。第1回(手稲)、と第2回(真駒内)は、北大で開催された公開セミナーに参加した後、宿泊施設に移動する形態で開催されており、参加者を集めるのにご苦労されたと述べられている。第3回目以後から緑陰セミナーは独立し、全道各地で開催されるようになった。また、第11回緑陰セミナー・小樽は、北大で行われた分析化学会第44年会の直後に開催され、北海道支部のみならず全国の若手研究者とも交流の輪を広げる試みもなされた。現在、北海道支部の若手の恒例行事として定着した分析化学緑陰セミナーは、今年で22回目を迎えるに至った。詳細は資料としてまとめたので、そちらを参照していただきたい。

最近、筆者はある雑誌の中で、企業側から見た最近の学生の問題点として、知識の裾野が狭いこと、また、受身型の人間が多いことを指摘する記事を目にした。大きな学会になればなるほど、自分の専門分野以外の発表を聞く機会が乏しくなり、また、手を上げて質問するのも敷居が高くなる。そのような中、緑陰セミナーのような若手を主体とした小さなセミナーは、学生の皆さんに専門以外の研究にじっくりと触れる重要な機会を与えると

ともに、セミナーの雰囲気が学生の質問に対する敷居を下げ、自発的な発言・討論を促す切っ掛けとなると期待される。また、研究に没頭すればするほど研究室に閉じこもりがちになる日常において、他研究室の院生・学生と接することも良い刺激となるはずである。筆者が初めて緑陰セミナーに参加した当時は、複数の大学の理学系、工学系、薬学系、地球環境科学系の研究室からの参加者のほか、企業、公官庁からの出席者があり、発表内容も顔ぶれも多彩で分析化学という学問の裾野の広さを感じたと記憶している。しかし、最近では年々参加団体数の減少が見受けられ、北大、北見工大の数研究室からの出席があるのみで、マンネリ化の兆しが見受けられる。若手育成と啓蒙の場であるべき緑陰セミナー本来の意義を保つためには、新たに参加していただける研究室もしくは若手研究者を発掘していくことが、緑陰セミナー存続の鍵であると感じている。最後に、この場をお借りして、緑陰セミナーに関するご協力とご理解をお願い申し上げます。

(北海道大学大学院理学研究院 石坂 昌司)

	期日	会場	世話人
第1回	昭和60年9月21日～22日	札幌市・北大学術交流会館、手稲ランド研修センター	菅原正雄(北大理)
第2回	昭和61年9月20日～21日	札幌市・北大学百年記念会館、北海道青少年会館	斉藤 健(北大医)
第3回	昭和62年9月12日～13日	旭川市・上川教育研修センター	田中俊逸(北大理)
第4回	昭和63年9月9日～10日	虻田町・洞爺湖保養所翠明荘	吉田 登(北大理)
第5回	平成元年9月8日～9日	夕張市・ファミリースクールふれあい	佐々木胤則(道教育大札幌)
第6回	平成2年9月8日～10日	札幌市・国営滝野すずらん丘陵公園 青少年の家	小田嶋和徳(北大理)
第7回	平成3年9月27日～29日	小樽市・おこばち山荘	瀬川 規(北大工)
第8回	平成4年9月25日～27日	千歳市・青年の家支笏湖青少年研修センター	伊藤慎二(北海道薬科大)
第9回	平成5年9月10日～12日	弟子屈町・北見工業大学屈斜路研修所	宇都正幸(北見工大)
第10回	平成6年6月16日～17日	月形町・月形町はな工房	吉村昭毅(北医療大)
第11回	平成7年9月30日～10月2日	小樽市・おこばち山荘	田中俊逸(北大院地環研)
第12回	平成8年7月13日～14日	札幌市・手稲ランド研修センター	中谷清治(北大院理)
第13回	平成9年7月12日～13日	朝日町・朝日町サンライズホール	南 尚嗣(北見工大)
第14回	平成10年7月11日～12日	札幌市・NTT北海道セミナーセンター	中山佳都夫(北大院薬)
第15回	平成11年7月17日～18日	小樽市・おこばち山荘	佐藤 準(小樽商大)
第16回	平成12年7月15日～16日	常呂町・ネイパルックピー常呂	小俣雅嗣(北見工大)
第17回	平成13年9月29日～30日	大滝村・大滝セミナーハウス	谷 博文(北大院工)
第18回	平成14年7月6日～7日	小樽市・おこばち山荘	石坂昌司(北大院理)
第19回	平成15年7月5日～6日	夕張市・ファミリースクールひまわり	石田晃彦(北大院工)
第20回	平成16年6月19日～20日	美瑛町・国立大雪青年の家	斉藤伸悟(北見工大)
第21回	平成17年6月18日～19日	小樽市・おこばち山荘	坪井泰之(北大院理)
第22回	平成18年6月17日～18日	小樽市・おこばち山荘	古月文志(北大院地環研)

### 第1回分析化学緑陰セミナー・手稲

**主催** 日本分析化学会北海道支部

**期日** 1985年9月21日(土)、22日(日)

**会場** 北海道大学学術交流会館[札幌市北区北8条西5丁目]及び、手稲ランド研修センター[札幌市手稲区手稲本町593-3]

**定員** 30名

#### プログラム

第1日目(21日)

特別講演(北海道大学学術交流会館、13:30~17:30)

1. 分子進化と生物進化(遺伝情報のコンピューター解析から見た生命)(北大理)飯田陽一
2. 屋久島杉年輪層及びサンゴ成長層の重金属分布と生体環境変化(室蘭工大)室住正世
3. 膜によるイオン、分子の検知(北大理)梅澤喜夫
4. におい、味の化学(北大薬)栗原堅三

公開セミナー終了後、手稲ランド研修センターへ移動

親睦会(手稲ランド研修センター、18:30~)

第2日目(22日)

話題提供(8:30~12:30)

1. キャリヤー及び能動輸送膜電極(北大理)菅原正雄
  2. 接触水素波とその溶出ボルタンメトリーへの応用(北大理)田中俊逸
  3. 生体微量金属の分析とその応用(北海道教育大札幌)佐々木胤則
  4. スーパーオキシドディスムターゼと医学(北大医)齊藤 健
  5. EXAFS, SOR と錯体化学(北大理)吉田 登
  6. Alの表面酸化物被膜の精密分析(北大工)高橋英明
- 解散(13:00)

**参加費** 一般5,000円、学生4,000円(含宿泊費・懇親会費)

**申込先** 北海道大学理学部化学科 菅原正雄

### 第2回分析化学緑陰セミナー・真駒内

**主催** 日本分析化学会北海道支部

**期日** 1986年9月20日(土)、21日(日)

**会場** 北海道大学百年記念会館[札幌市北区北8条西5丁目]及び、北海道青少年会館[札幌市南区真駒内柏丘7-8-1]

**定員** 30名

#### プログラム

第1日目(20日)

公開セミナーに参加(13:30~16:00)

親睦会並びに懇談会(17:30より北海道青少年会館において自由討論形式で行う予定)

第2日目(21日)

講演(9:00~12:00)

1. XPS データからの有機化合物及び金属錯体の構造の推定(北大工)金野英隆
2. ECD-HPLC及びラジオイムノアッセイ法によるエストロゲン抱合体の代謝研究(北海道薬大)渡辺一弘
3. 液膜型イオン電極界面におけるイオン輸送と電位応答(北大理)片岡正光
4. 紫外線照射による分析試料の湿式灰化法の開発ー主としてイオンクロマトグラフィーへの応用(北見工大)伊藤純一

**参加費** 一般5,000円、学生3,000円(含宿泊費・懇親会費)

**申込先** 北海道大学医学部衛生学教室 齊藤 健

### 第3回分析化学緑陰セミナー・旭川

**主催** 日本分析化学会北海道支部

**期日** 1987年9月12日(土)、13日(日)

**会場** 上川教育研修センター[旭川市6条通4丁目]

**定員** 35名

#### プログラム

第1日目(12日)

話題提供(15:00~16:30)

1. 界面活性剤ミセルへの金属キレートの二相間分配現象を利用する分離法(北大工)齊藤 徹
2. 安定同位体の利用によるステロイドの転位反応機構の解明(北海道薬大)伊藤慎二

見学会(17:00~18:00)

親睦会(18:30~)

第2日目(13日)

講演(9:00~12:00)

1. 脂質膜を用いた免疫測定法(北大理)阿部浩久
2. 金属キレート化合物の逆相HPLCへの利用ー金属-ジチオセミカルバゾンキレートの分離挙動(北見工大)星 座
3. GC-MSによる胎児性1 $\beta$ -水酸化胆汁酸の研究(東日本学園大)馬原礼二郎

**参加費** 一般5,000円、学生3,000円(含宿泊費・懇親会費)

**申込先** 北大理学部化学科環境化学講座 田中俊逸

### 第4回分析化学緑陰セミナー・洞爺湖

**主催** 日本分析化学会北海道支部

**期日** 1988年9月9日(金)、10日(土)

**会場** 洞爺湖保養所翠明荘[虻田郡虻田町字洞爺湖温泉町142]

**定員** 40名

#### プログラム

第1日目(9日)

話題提供(13:00~15:15)

1. ホストゲスト分子認識化学と分析(北大理)小田嶋和徳
2. 人肝チトクローム P-450 のクローニング(北大薬)小森雅之
3. 分析・地球化学と私(北大名誉教授)西村雅吉

有珠登山(15:30~17:30)

親睦会(18:00~)

第2日目(10日)

講演(9:00~12:00)

1. 分子模型と斬道の表示(函館高専)長尾輝夫
2. 同位体希釈表面電離質量分析法と海洋化学への応用(室蘭工大)浜田 誠
3. リンの迅速・高感度定量法の開発ー水の分析のために(北大理)菅原正彦

**参加費** 一般6,000円、学生4,000円(含宿泊費・懇親会費)

**申込先** 北海道大学理学部化学第二学科錯体化学講座  
吉田 登

#### 第5回分析化学緑陰セミナー・夕張

**主催** 日本分析化学会北海道支部

**期日** 1989年9月8日(金)、9日(土)

**会場** ファミリースクールふれあい[夕張市福住10番地]

**定員** 45名

**プログラム**

第1日目(8日)

話題提供(14:00~16:00)

1. バイオミメティックセンサーの開発ー生体機能に学ぶ(北大理)宇都正幸
2. オルトフタルアルデヒド修飾試薬によるアミン類の発蛍光反応(東日本学園大)吉村昭毅

見学会・市内散策(16:00~18:00)

懇親会(18:30~)

第2日目(9日)

講演(9:00~12:00)

1. 化学教育と分析化学(北大名誉教授)墓目清一郎
2. 化学発光法による微量DNAの検出(北大工)瀬川 規
3. 環境及び生体試料中のヒ素の化学形態に関する最近の話題(道衛生研究所)神 和夫

**参加費** 一般5,000円、学生3,000円(含宿泊費・懇親会費)

**申込先** 北海道教育大学札幌分校 佐々木胤則

#### 第6回分析化学緑陰セミナー・滝野

**主催** 日本分析化学会北海道支部

**期日** 1990年9月8日(土)、10日(月)

**会場** 国営滝野すずらん丘陵公園 青少年の家[札幌市南区滝野247]

**定員** 50名

**プログラム**

第1日目(8日)

現地集合(17:00)

ポスターセッション(19:30~22:00)

第2日目(9日)

講演(9:00~12:15)

1. 北海道の大気環境問題(道公害防止研)加藤拓紀
2. 大環状ポリアミンを用いた電位応答型センサー(北大理)長縄竜一
3. boreasに寄すー伝統と創造(北大理)藤本昌利

午後:自由時間(公園内散策など)

夕食・懇親会(18:00~)

第3日目(10日)

講演(9:00~12:00)

1. ヒトインターフェロン $\beta$ 遺伝子の転写制御機構(北大薬)伊東 進
2. ミセル溶液における錯形成反応(北大工)瀬川晴貴
3. 1リットルの海水(北大水産)乗木新一郎

現地解散(12:30)

**参加費** 一般9,000円、学生6,000円(含宿泊費・懇親会費)

**申込先** 北大理学部化学科分析化学講座 小田嶋和徳

#### 第7回分析化学緑陰セミナー・小樽

**主催** 日本分析化学会北海道支部

**期日** 1991年9月27日(金)、29日(日)

**会場** おたる自然の村・おこばち山荘[小樽市天狗山1丁目国営林野152林班]

**定員** 50名

**プログラム**

第1日目(27日)

現地集合(17:00)

研究室・職場の紹介(19:30~22:00)

第2日目(28日)

講演(9:00~12:30)

1. チオールに対する銅(II)の酸化触媒作用を利用した計測法(北大工)片山 淳
2. 化学修飾カーボンペースト電極による選択的な濃縮ボルタンメトリーに関する研究ーペーストとは何か(北大理)菅原一晴
3. 抗生物質及びその誘導体を用いた化学センサーの開

発(北大理) 遠田浩司

4. Rainbow Stars—二色誘導ラマン効果(九大工) 今坂藤太郎

ポスターセッション(13:15~15:00)

レクリエーション(15:00~17:30)

夕食・懇親会(18:00~)

第3日目(29日)

講演(9:00~12:15)

1. 遺伝子診断—最近の話題(北大薬) 横井 毅
2. キレート抽出系液膜イオンセンサーの応答に対する協同効果の寄与(道衛研) 上田祥久
3. 明日の分析化学への期待(北大名誉教授) 吉田仁志

現地解散(12:30)

**参加費** 一般10,000円、学生6,000円(含宿泊費・懇親会費)

**申込先** 北大工学部工業分析化学第二講座 瀬川 規

### 第8回分析化学緑陰セミナー・支笏湖

**主催** 日本分析化学会北海道支部

**期日** 1992年9月25日(金)、27日(日)

**会場** 千歳市青年の家支笏湖青少年研修センター[北海道千歳市モラップ]

**定員** 60名

**プログラム**

第1日目(25日)

現地集合(17:00)

研究室・職場の紹介(19:00~22:00)

第2日目(26日)

話題提供(9:00~15:00)

1. La(III)-Cr(VI)系からのペロブスカイト型 La-CrO<sub>3</sub>の合成とその後の展開(北大工) 古崎 睦
2. フルオレセイン化学発光のミセル増感(北大工) 石川郭遂
3. ルシゲニンの複合増感化学発光を利用する生理活性アミンの高感度フローインジェクション分析法(北大工) 市橋洋幸
4. 高濃度の N-n-オクタノイル-N-フェニルヒドロキシルアミンを用いる溶媒抽出の平衡論(北大工) 谷博文
5. GC/MSによる胎児性胆汁酸の動態解析(東日本学園大薬) 野村幸広
6. 胆汁酸のイムノアッセイについて(東日本学園大薬) 木下昭子
7. ラット肝フラビン含有モノオキシゲナーゼ(FMO)のcDNA単離とその発現(北大薬) 伊藤邦郎
8. ヒト成人及び胎児肝に特異的に発現するチトクロームP-450分子種の遺伝子解析と転写調節機構(北大

薬) 橋本 尚

9. 究極発ガン物質 estradiol-6-sulfate 由来の N<sup>6</sup>-adenine アダクト標品の合成(北海道薬大) 新沼佐代子

10. 化学で分かる地球環境(北海道東海大) 植松光夫

11. 覚せい剤の電気化学的イムノアッセイ(道警科学捜査研) 池田俊朗

レクリエーション(15:00~17:30)

懇親会(19:00~22:00)

第3日目(27日)

1. カリックス[6]アレン誘導体をセンサー素子として用いた有機アミンの形状識別(北大理) 八木謙一
2. フミン酸と銅との錯形成に関する研究(北大理) 福嶋正巳
3. 酵素反応を用いる電気化学的分析法の開発—ポーラログラフィーからセンサーまで(北大理) 引間 聡
4. エストラジオール 17-グルクロナイドカテコールの抗脂質過酸化作用(北海道薬大) 鎌田摩樹
5. 妊娠中毒症とエストロジェン(北海道薬大) 高梨香織
6. 国立研究機関での研究生活28年(北開試) 伊藤三郎

現地解散(13:00)

**参加費** 一般9,000円、学生5,000円(含宿泊費・懇親会費)

**申込先** 北海道薬科大学薬品分析教室 伊藤慎二

### 第9回分析化学緑陰セミナー・屈斜路湖

**主催** 日本分析化学会北海道支部

**期日** 1993年9月10日(金)、12日(日)

**会場** 北見工業大学屈斜路研修所[北海道弟子屈町]

**定員** 60名

**プログラム**

第1日目(10日)

現地集合(17:00)

研究室・職場の紹介(19:00~22:00)

第2日目(11日)

話題提供(9:00~16:30)

1. 17位抱合型エストラジオールのフレミー塩による簡便なカテコール体合成法の検討(北海道薬大) 本間貴史
2. 胆汁酸イムノアッセイの開発と病状解析への応用(東日本学園大薬) 村井 毅
3. ペルオキシダーゼの高感度検出のためのポリフェノール系化学発光試薬の開発(北大工) 大泉貴洋
4. 直接定量分析—脂質二分子膜に基づく化学センサーと固体の原子吸光法(北見工大) 南 尚嗣
5. レーザーを用いたマイクロ分析化学へのアプローチ

- (北大理) 喜多村昇
- 魚介類への重金属の濃縮—10万倍濃縮のメカニズム (北見工大) 北村政智
  - 廃棄物処理の現在と未来 (野村興産) 岩崎隆昌
  - 過テクネチウム酸イオンの陰イオン交換樹脂への吸着挙動 (北大理) 川崎幹生
  - 試薬担持樹脂による濃縮と吸光検出 HPLC を用いる微量金属イオンの分析法の開発 (北見工大) 藤沢英樹
- 第3日目 (12日)  
現地解散 (9:30)
- 参加費** 一般8,000円、学生3,000円 (含宿泊費・懇親会費)
- 申込先** 北見工業大学機能材料工学科 宇都正幸

### 第10回分析化学緑陰セミナー・月形

**主催** 日本分析化学会北海道支部  
**期日** 1994年9月16日(金)、17日(土)  
**会場** 月形町はな工房[北海道月形町皆楽公園内]  
**定員** 60名

#### プログラム

- 第1日目 (16日)  
話題提供 (14:00~17:00)
- 顕微分光法による微小領域の分析化学 (北大理) 金幸夫
  - 固体二次元 NMR 法を用いた高分子無機化合物の構造解析 (北大工) 恵良田知樹
  - 小児のマスクリーニング (札幌市衛研) 福士 勝  
懇親会 (19:00~)
- 第2日目 (17日)  
話題提供 (9:30~11:30)
- チトクローム P-450 の性差:発現調節機構の解析 (北大薬) 佐久間勉
  - 生体膜機能と化学センサー (東大理) 菅原正雄
  - 胎児の胆汁酸をさぐる—専門を超えて研究協力のすすめ (北医療大薬) 藤間貞彦
- 現地解散 (12:30)
- 参加費** 一般8,000円、学生3,500円 (含宿泊費・懇親会費)
- 申込先** 北海道医療大学薬学部薬品分析化学教室 吉村昭毅

### 第11回分析化学緑陰セミナー・小樽

**主催** 日本分析化学会北海道支部  
**期日** 1995年9月30日(土)、10月2日(月)  
**会場** おたる自然の村・おこぼち山荘[小樽市天狗山1丁目国有林野152林班]

**定員** 120名

#### プログラム

- 第1日目 (30日)  
現地集合 (17:30)  
ポスターセッション (19:30~22:00)
- 第2日目 (1日)  
話題提供 (9:00~17:30)
- 光道波現象と分析化学—研究者としての中間点に立って (群馬大工) 角田欣一
  - 内部反射分光法による固液及び液液界面の分析化学 (阪大理) 樋上照男
  - 界面活性剤ミセル水溶液の相分離とタンパク質分離への応用 (北大工) 谷 博文  
懇親会 (19:00~)
- 第3日目 (2日)  
話題提供 (9:30~11:30)
- 遺伝子 DNA の固定化と分離・計測への応用 (九大工) 前田瑞夫
- 現地解散 (12:00)
- 参加費** 一般12,000円、学生6,000円 (含宿泊費・懇親会費)
- 申込先** 北海道大学大学院地球環境科学研究科分子機能化学講座 田中俊逸

### 第12回分析化学緑陰セミナー・札幌(手稲)

**主催** 日本分析化学会北海道支部  
**期日** 1996年7月13日(土)、14日(日)  
**会場** 手稲ランド研修センター[札幌市手稲区手稲本町593-3]

**定員** 100名

#### プログラム

- 第1日目 (13日)  
現地集合 (13:00)  
話題提供 (13:30~17:00)
- 湖底たい積物の微量元素分析から分かること (北大院地球環境) 豊田和弘
  - 微粒子の光共鳴と放射圧を利用した分析手法 (北大工) 笹木敬司
  - 共鳴 SHG スペクトルによる界面吸着種の状態解析 (東北大理) 内田達也
- ポスター研究発表、懇親会 (17:00~)
- 第2日目 (14日)  
話題提供 (9:30~11:30)
- 走査型プローブ顕微鏡による触媒開発研究の新展開 (三井東庄) 山本貞明
  - P450 遺伝子の発現調節機構の解析 (北大薬) 中山佳都夫

現地解散 (12:00)

**参加費** 一般 12,000 円、学生 6,000 円 (含宿泊費・懇親会費)

**申込先** 北大大学院理学研究科化学専攻 中谷清治

### 第 13 回分析化学緑陰セミナー・朝日町

**主催** 日本分析化学会北海道支部

**期日** 1997 年 7 月 12 日 (土)、13 日 (日)

**会場** 朝日町サンライズホール [北海道朝日町中央 4038]

**定員** 100 名

#### プログラム

第 1 日目 (12 日)

現地集合 (13:00)

話題提供 (13:30~16:30)

1. クラウンエーテル類似型蛍光試薬の開発 (北大院理) 諸角達也
2. 量子化半導体超微粒子の光学・分散特性 (北大院理) 八尾浩史
3. ICP, MIP とベルマー・ファッセル先生 (旭川高専) 大石公之助

ポスター研究発表、懇親会 (18:30~)

第 2 日目 (13 日)

話題提供 (9:30~11:30)

4. 国立研究機関における分析部門と環境問題へのアプローチ (国立環境研) 田中 敦
5. 常呂川水系及び北見市の環境調査について (北見工大) 小俣雅嗣

現地解散 (12:00)

**参加費** 一般 8,000 円、学生 4,000 円 (含宿泊費・懇親会費)

**申込先** 北見工業大学機能材料工学科 南 尚嗣

### 第 14 回分析化学緑陰セミナー・札幌

**主催** 日本分析化学会北海道支部

**期日** 1998 年 7 月 11 日 (土)、12 日 (日)

**会場** NTT 北海道セミナーセンター [札幌市中央区南 22 条西 7 丁目]

**定員** 100 名

#### プログラム

第 1 日目 (11 日)

現地集合 (13:30)

話題提供 (14:00~16:00)

1. 残留性 PCB の代謝とステロイドホルモン系への影響 (北大院薬) 有吉範高
2. 環境ホルモンとその活性測定法 (三菱化学安科研) 永井賢司

ポスター研究発表 (16:30~)

懇親会 (18:00~)

第 2 日目 (12 日)

話題提供 (9:30~11:30)

3. ヒト薬物代謝酵素を発現する試薬系の毒性試験への応用 (旭化成安全性研究所) 鈴木昭浩
4. オキソ架橋多核金属錯体の酸化還元挙動とその電極表面への組織化 (北大院理) 阿部正明

現地解散 (12:00)

**参加費** 一般 8,000 円、学生 4,000 円 (含宿泊費・懇親会費)

**申込先** 北海道大学大学院薬学研究科代謝分析学分野 中山佳都夫

### 第 15 回分析化学緑陰セミナー・小樽

**主催** 日本分析化学会北海道支部

**期日** 1999 年 7 月 17 日 (土)、18 日 (日)

**会場** おたる自然の村・おこぼち山荘 [小樽市天狗山 1 丁目国有林野 152 林班]

**定員** 100 名

#### プログラム

第 1 日目 (17 日)

現地集合 (13:00)

話題提供 (13:30~16:30)

1. 生薬「呉茱萸」の漢方的薬能の科学化 (北海道薬大) 小松健一
2. 廃蛍光管からの希土類元素の再資源化とその有効利用 (道工試) 高橋 徹
3. マルチブラックスキヤビラリー電気泳動 (九大院工) 金田 隆

ポスター研究発表、懇親会 (18:00~)

第 2 日目 (18 日)

話題提供 (9:30~11:30)

4. ゲルサポート脂質二分子膜の光学的観察と分析化学的応用 (北見工大院工) 岡野雅憲
5. カチオン性コレステロール含有リポソーム共存下におけるホタル生物発光を利用した ATP の高感度計測 (北大院工) 中田尚宏
6. 原子スペクトル分光法によるトレースアナリシスの高感度化 (北見工大院工) 鈴木貴博
7. クロムの酸化還元反応に腐食物質が及ぼす影響 (北大院地球環境) 中保 建

現地解散 (12:00)

**参加費** 一般 9,000 円、学生 4,500 円 (含宿泊費・懇親会費)

**申込先** 小樽商科大学商学部一般教養・化学 佐藤 準

### 第16回分析化学緑陰セミナー・常呂

**主催** 日本分析化学会北海道支部  
**期日** 2000年7月15日(土)、16日(日)  
**会場** ネイパルクッピー常呂(北海道立常呂少年自然の家)[北海道常呂町字栄浦365-1]

**定員** 90名

#### プログラム

第1日目(15日)

現地集合(13:00)

話題提供(13:30~16:00)

1. 液膜系電位自励発振装置開発から薬物計測への応用まで(東薬大薬)荒井健介
2. 水素結合性レセプターによるアニオン認識(東北大院理)西澤精一

ポスター研究発表、懇親会(18:00~)

第2日目(16日)

話題提供(9:30~12:00)

3. 金属イオンの簡易分析のための目視検出システム(北大院工)石田晃彦
4. 液/液界面の構造を分光学的に探る(北大院理)石坂昌司
5. 両性イオン界面活性剤を用いるキャピラリー電気泳動法の研究(北大院地球環境)森 勝伸

現地解散(12:00)

**参加費** 一般8,000円、学生4,000円(含宿泊費・懇親会費)

**申込先** 北見工業大学工学部化学システム工学科環境科学講座環境科学研究室 小俣雅嗣

### 第17回分析化学緑陰セミナー・大滝

**主催** 日本分析化学会北海道支部  
**期日** 2001年9月29日(土)、30日(日)  
**会場** 大滝セミナーハウス[北海道有珠郡大滝村優徳町]

**定員** 90名

#### プログラム

第1日目(29日)

現地集合(13:00)

話題提供(13:30~16:40)

1. 遺伝子解析デバイス(オリンパス光学工業)篠原悦夫
2. ローテクノロジー高感度分析法を求めて(北見工大)金子恵美子
3. タンパクーリガンド相互作用の電気化学的検出法と内分泌攪乱化学物質のスクリーニング試験への応用(北大院地球環境)倉光英樹

ポスター研究発表、懇親会(18:30~)

第2日目(30日)

話題提供(9:30~11:30)

4. ポリマーマイクロチャンネルチップの創製と化学的応用(北大院理)上野貢生
5. 人工イオノフォアを包埋した人工平面脂質二分子膜を用いるイオンセンサーの基礎開発(小樽商大)佐藤 準

現地解散(12:00)

**参加費** 一般8,000円、学生4,000円(含宿泊費・懇親会費)

**申込先** 北海道大学大学院工学研究科生物機能化学講座 谷 博文

### 第18回分析化学緑陰セミナー・小樽

**主催** 日本分析化学会北海道支部  
**期日** 2002年7月6日(土)、7日(日)  
**会場** おたる自然の村・おこばち山荘[小樽市天狗山1丁目国有林野152林班]

**定員** 100名

#### プログラム

第1日目(6日)

現地集合(13:30)

話題提供(14:00~16:00)

1. 光の放射圧を利用した微弱力測定(北大電子研)堀田純一
2. 金ナノ微粒子を用いたDNA検出法(東北大院理)山口 央

ポスター研究発表、懇親会(18:00~)

第2日目(7日)

話題提供(9:30~11:30)

3. エストラジオール17-サルフェートの臨牀的意義解明のための基礎研究—主に代謝研究—(北海道薬科大)伊東佳美
4. TICT分子系光ダイナミクス of 新しい展開(北大院理)坪井泰之

現地解散(12:00)

**参加費** 一般8,000円、学生4,000円(含宿泊費・懇親会費)

**申込先** 北海道大学大学院理学研究科化学専攻機能分子化学講座 石坂昌司

### 第19回分析化学緑陰セミナー・夕張

**主催** 日本分析化学会北海道支部  
**期日** 2003年7月5日(土)、6日(日)  
**会場** ファミリースクールひまわり[北海道夕張市鹿の谷山手町18番地]



定員 80名

### プログラム

第1日目(5日)

現地集合(13:30)

話題提供(14:00~16:00)

1. 分子レベルで見た生体膜/イオン間相互作用(北大院地環)古月文志
2. 安定同位体分析技術の進歩と大気中微量物質の天然トレーサーとしての応用(北大院理)角皆潤

研究発表(16:00~、1件12分、口頭)

懇親会(研究室・職場紹介)

第2日(6日)

話題提供(9:30~11:30)

3. 速度論的特性を利用した多座キレート錯体系のプレカラム誘導体化分離分析システム(北見工大)齋藤伸吾
4. DNAチップ基本技術の確立とビジネス化(北大院地環)山崎健一

現地解散(12:00)

参加費(含宿泊費・懇親会費) 一般12,000円、学生6,000円

申込先 北海道大学大学院工学研究科分子化学専攻 石田晃彦

### 第20回分析化学緑陰セミナー・美瑛

主催 日本分析化学会北海道支部

期日 2004年6月19日(土)、20日(日)

会場 国立大雪青年の家〔北海道上川郡美瑛町白金〕

定員 70名

### プログラム

第1日目(19日)

現地集合(13:30)

話題提供(14:00~15:30)

1. 地表面下の環境変遷を放射性核種の深度分布から探る試み(北大院工)藤吉亮子
2. 大学って何?—大学の営業マンとしての8年(北見工大)宇都正幸

研究発表(15:30~、1件12分、口頭)

テトラエチルホウ酸ナトリウムを用いた貝類中のブチルスズ化合物の前処理とGC/MS/MS定量(北見工大、M2) 牧野悠一

ナノチャンネル薄膜導入型マイクロチャンネルチップの作成と金属イオンの電気化学検出への応用(北大院理、M2) 岩田訓志

脂質二分子膜オプティカルイオンセンサーの応答と膜構造の関係(北見工大、M2) 岡安清貴

懇親会(研究室・職場紹介)

第2日(20日)

話題提供(9:30~11:30)

3. 臨床検査への分析技術の応用(株式会社シノテスト) 芳村一
4. 核酸の脱塩基部位形成を利用する一塩基変異蛍光診断法(理研)吉本敬太郎

現地解散(12:00)

参加費(含宿泊費・懇親会費) 一般8,000円、学生4,000円

申込先 北見工業大学工学部化学システム工学科 齊藤伸悟

### 第21回分析化学緑陰セミナー・小樽

主催 日本分析化学会北海道支部

期日 2005年6月18日(土)、19日(日)

会場 小樽自然の村公社「おこぼち山荘」〔北海道小樽市天狗山1丁目国有林野4152林班〕

定員 80名

### プログラム

第1日(18日)

現地集合 13:30

話題提供講演

1. 様々な試料を用いたフェムト秒レーザー誘起パルスX線発生(東北大院理)畑中耕治
2. 金属ナノ構造体が拓く分析化学(北大電子研)上野貢生

研究発表会、懇親会

第2日(19日)

話題提供講演

3. ジングルベル型構造をもつ半導体ナノ粒子複合体の調製とその光化学特性(名大院工)鳥本司
4. DNA1分子の分析とナノデバイスへの応用(北大電子研)松尾保孝

現地解散(12:00)

参加費(含宿泊費・懇親会費)一般8,000円、学生4,000円。

申込先 北大大学院理学研究科化学専攻 坪井泰之

### 第22回分析化学緑陰セミナー・小樽

主催 日本分析化学会北海道支部

期日 2006年6月17日(土)・18日(日)

会場 小樽自然の村〔北海道小樽市天狗山1丁目国有林野4152林班〕

定員 80名

### プログラム

第1日(17日)

現地集合(13:30)

話題提供 (14:00~16:00)

1. CHAOS: サハリン沖海底メタンハイドレート国際共同調査 (北見工大) 南 尚嗣
2. 微小構造を用いた光閉じ込め効果の光反応過程への応用 (北大学電子研) 藤原英樹

研究発表 (16:00~、1件12分、口頭)

懇親会 (研究室・職場紹介)

第2日 (18日)

話題提供 (9:30~11:30)

3. カーボンナノチューブを使用したセンサー (北大創成) 武田晴治
4. ボロンジピロメテン蛍光・化学発光色素の設計・合成と光センシング応用 (北大院地球環境) 山田幸司

現地解散 (12:00)

**参加費** (含宿泊費・懇親会費) 一般 10,000 円、学生 5,000 円

**申込先** 北大大学院地球環境科学研究院 古月文志